

努力の大切さ
高校生に訴え

元コンサ・河合さん

【芦別】「未来を拓くウエルビーイングフオーラム」が7日、芦別高体育館で開かれ、サッカーJリーグ北海道コンサドーレ札幌の元選手、河合竜二さん(46)が「夢の叶え方」と題して講演。住民ら約60人に、目標に向かい努力し続ける大切さを訴えた。

道などをつくる北海道心の教育推進会議の主催。

河合さんは東京都出身。小、中、高とサッカーに打ち込み、1997年浦和レッズに入団。横浜F・マリノスを経て2011年にコンサに入り、5年間主将を務めた。18年に現役を引退。現在

は、コンサのスタッフとして、サッカー教室の開催や企業との取引など経営にも携わる。

河合さんは、高校時代を振り返り、「練習には誰よりも早く来て、誰よりも遅く帰った」と述べ、小さな努力の積み重ねが、インターハイでのチーム準優勝やプロになる夢実現につながったと話した。さらに「夢をかなえるための近道はない。目の前のことに全力を」と呼び掛けた。会場からの「プロで活躍している選手の間通点は」との質問に対しては、「負けず嫌いで、努力を怠らず向上心のかたまり」と答えていた。

講演後、参加者は「どんな自分になっていきたいか」などをテーマにグループで討議するワークショップを行った。

(六戸透)



夢に向かって努力を重ねることの大切さを訴える河合さん